

建設業における海外出身技術者の受け入れ現状および課題に関する調査研究

～ その2 アンケート調査結果 ～

長大 正会員 大浦 雅幸 安藤ハザマ 正会員 ○Shrestha Ashish 埼玉大学 正会員 党 紀
日本工営 正会員 Thi Ha 青木あすなろ建設 正会員 劉 翠平

1. はじめに

土木学会では、建設分野における外国人材の受入拡大¹⁾に対応するため、コンサルタント委員会内にグローバルシビルエンジニア研究小委員会を立ち上げて活動を開始している。活動において、2021年10月に一部の会員企業を対象に、企業側で海外出身技術者を雇用する際に直面している課題、海外出身技術者が職場で直面している壁やキャリアパスの課題等に関するWebアンケート調査を行った。当該研究小委員会の活動並びに調査内容は、「その1 調査背景および実施方法」において紹介している²⁾。本稿では、その調査で得られた結果とその考察について述べる。

2. 調査結果

(1) アンケートの回答状況

アンケートを実施した結果、国内の建設業及び建設コンサルタント企業に分類される16社から有効回答が得られ、回答企業の中に約2/3が大企業であった。また、図-1の通り、海外出身技術者の採用実績は、「採用実績あり」が約75%、「採用予定あり」が約12%、「採用が難しい」の回答は約12%にとどまっている。同分野の国内マーケットにおける事業拡大の上でも、海外出身技術者の採用を積極的に進められており、採用ニーズがあることが確認できた。これは、外国人の採用が比較的遅れている同分野においても、外国人労働力が極めて

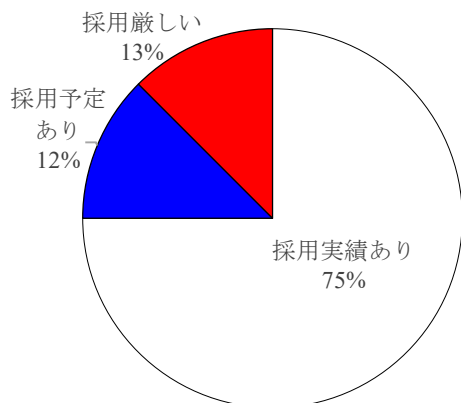


図-1 海外出身技術者の雇用実績

て重要であることと、日本での雇用機会拡大を明確に示す結果となった。

(2) 企業が求める海外出身技術者

採用された海外出身技術者の年代分布(図-2)では、圧倒的に新卒者が多数を占めた。一方、40~60歳代においても採用実績が見られた。また、20歳代で採用されるケースにおいては学部卒業者が約半数を占めているが、30歳代以降はほぼ大学院修了者が採用されている。新卒者以外の採用においては高度な専門知識を習得した技術者が採用されている。

海外出身技術者に求める資質および資格を図-3および図-4にそれぞれ示す。採用する海外出身技術者に求める資質では、「協調性」、「基礎学力」、「専門知識」、「社交性」、等で高い回答となっており、「ストレス耐性」、「発想力の豊かさ」、「英語力」、「フットワークの良さ」などの項目においては低い回答であった。また、取得を期待する資格では、「日本語能力資格(N1, N2)」や、「技術士」の回答が圧倒的に多い結果となった。図-5に示す懸念点については、コミュニケーション不足や困難さからくる仕事上や社員間の不具合やトラブルを懸念する回答が多い。一方で、文化の違いに対する懸念は少ない。また半数の企業が、社内システムや制度面での遅れや活躍機会を提供できない、といった懸念を持っていることが見て取れた。

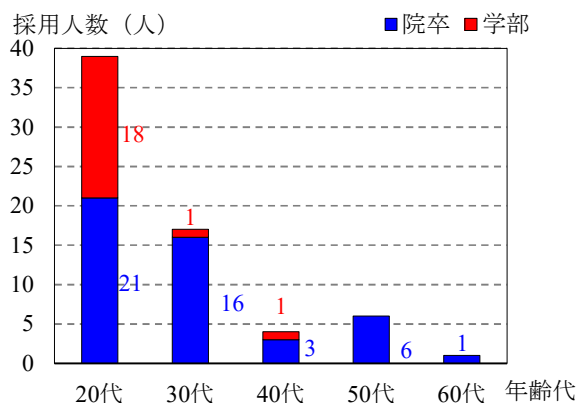


図-2 雇用された海外出身技術者の年代分布

キーワード 建設業, 海外出身技術者, グローバル, シビルエンジニア, アンケート調査

連絡先 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20 安藤ハザマ 土木技術統括部 技術第二部 橋梁グループ TEL: 03-6234-3672

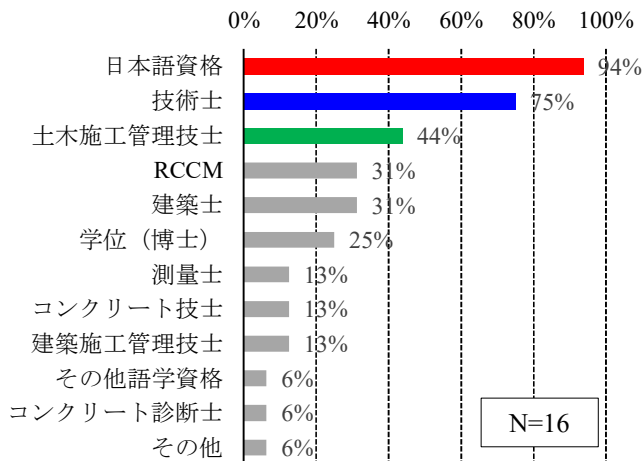


図-3 海外出身技術者に求める資質

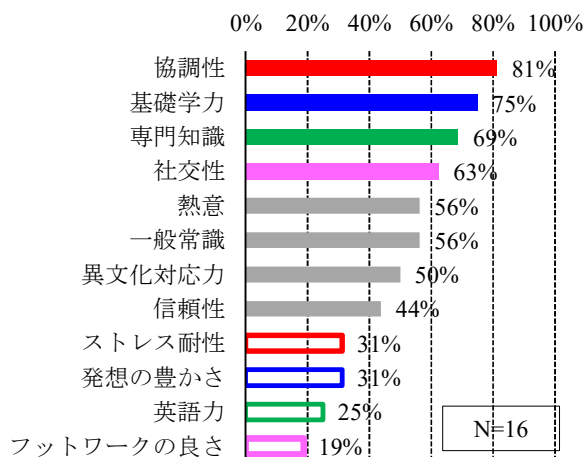


図-4 海外出身技術者に求める資質

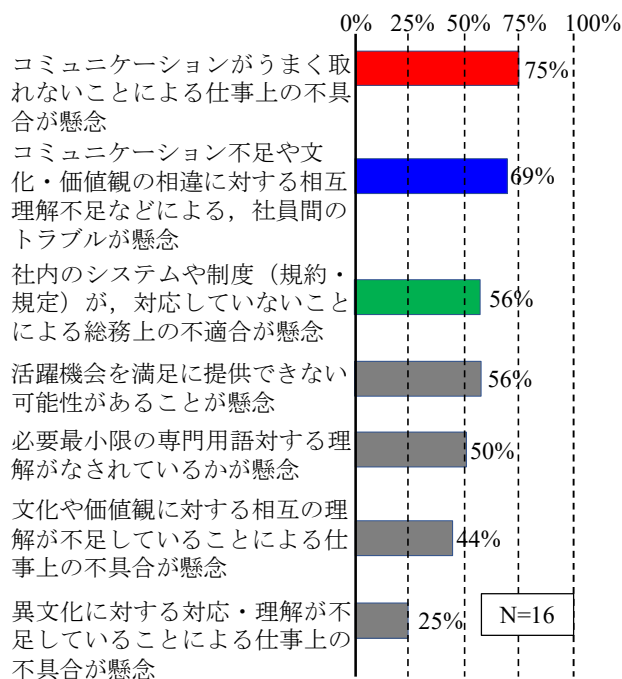


図-5 海外出身技術者を雇用する上での懸念

(3) 課題と支援策

図-6に示すように、海外出身技術者の雇用拡大に必要な支援策として、日本語能力を確認する方法や、対象人材のコミュニケーション能力を高める教育の強化や

ツールの開発、入国管理・雇用管理・生活支援などの支援、が比較的多くの企業から要望される結果となった。また、日本語の専門用語に対する理解度を支援する施策などへの要望も見られる。一方で、文化・価値観に関連する支援や、キャリア形成に関する支援については、比較的要望が少ない結果となった。

今後の活動において、グローバルシビルエンジニア研究小委員会として、建設業界で働く海外のエンジニアが自分のキャリアパスを考えるのに役立つケーススタディ集を作成するというアイデアについて、回答者のニーズに即していることが確認できたと言える。

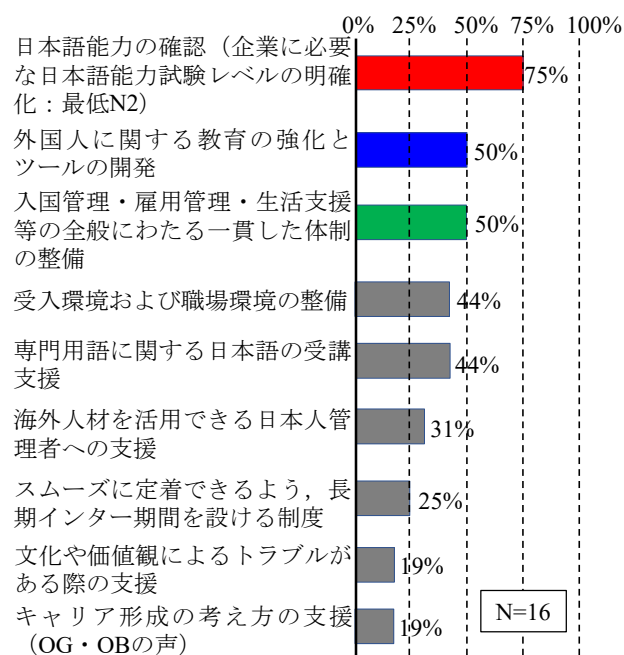


図-6 海外出身技術者を雇用拡大に資する施策

3. おわりに

グローバルシビルエンジニア研究小委員会では今後、本アンケート調査結果と、平行して実施した海外出身エンジニアを対象としたインタビュー調査の結果を基に、更なる雇用機会の拡大や労働環境の向上に向けた施策の一助となる検討を進める予定である。

参考文献

- 国土交通省：「建設分野における外国人材の受入」、2021
(www.skr.mlit.go.jp/kensei/sangyou/01_kensetu/11-gaikokujin/gaikokujin.html)
- Thi Ha, 他：「建設業における海外出身技術者の受け入れ現状および課題に関する調査研究 その1 調査背景及び実施方法」、土木学会第77回年次学術講演会、2022.9